

和歌山市 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査

(就学児童[小学生]保護者用)

調査ご協力をお願い

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

和歌山市では、子ども・子育て支援法に基づき、平成 27 年 3 月に「和歌山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、本市の子供と子育て世帯の支援の充実を図ってまいりました。本計画は 5 年毎に作成する計画となっており、現在、次の 5 年間（平成 32（2020）年度～平成 36（2024）年度）を対象とした第二期の計画策定に向けて準備を進めているところです。

このたび、第二期の計画を策定するにあたり、市民の皆さんの教育・保育サービス等の利用状況や今後の利用希望などを把握するための調査を実施させていただくことになりました。

調査対象者として、和歌山市にお住まいで小学生のお子さんがある保護者の方から無作為に抽出し、ご協力をお願いしております。

ご回答（施設やサービスの利用希望等）は、特定の施設やサービスの具体的な利用の可否を決定するものではありませんので、現在のお気持ちやご要望などを率直にお聞かせいただければ幸いです。

調査は無記名式で、回答は統計的に処理し、ご回答内容が他に漏れることは一切ありません。また、調査結果は上記目的以外に使用することはありません。

ご多忙のところ恐縮に存じますが、さらに子育てしやすい環境づくりのために、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 30 年 12 月 和歌山市

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートにはあて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。

アンケートへの回答が終われば、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに●月●日（●）までにご投函ください。

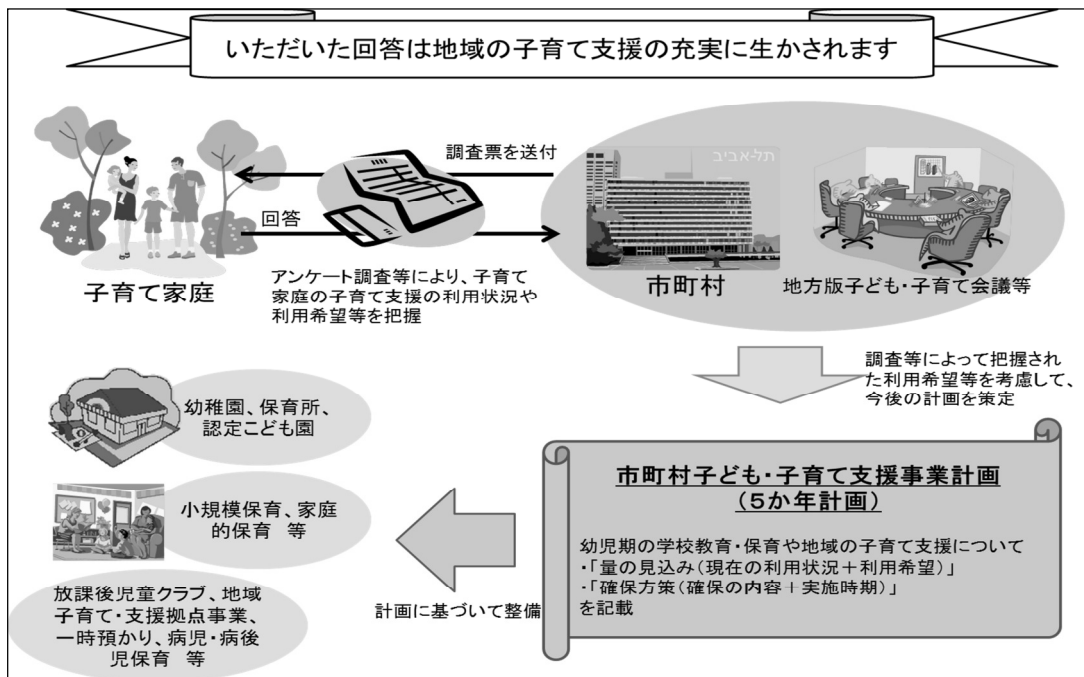
ご回答いただく上でご不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

和歌山市 福祉局 こども未来部 子育て支援課
電話：073-435-1329（直通 8:30～17:15 土日祝日を除く）

回答するに当たってお読みください

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子供や保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子供が健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子供の成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子供と向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子供の成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



※放課後児童クラブについて、和歌山市は「学童保育(若竹学級等)」として実施しています。

(用語の定義) この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
- ・保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子供に関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- ・子 育 て：教育・保育その他の子供の健やかな成長のために行われる支援
- ・教 育：問12までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問13以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています
- ・学童保育(若竹学級等)：労働などの事情により昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や長期休暇中、保護者に代わって行う保育。

お住まいの地域についておうかがいします

問1 お住まいの地区（中学校区）はどこですか。（○は1つ）

- | | | | | |
|------------|--------------|------------|------------|-------------|
| 1. 日進中学校区 | 2. 伏虎義務教育学校区 | 3. 東和中学校区 | 4. 西和中学校区 | 5. 城東中学校区 |
| 6. 西浜中学校区 | 7. 明和中学校区 | 8. 河北中学校区 | 9. 河西中学校区 | 10. 紀之川中学校区 |
| 11. 加太中学校区 | 12. 西脇中学校区 | 13. 紀伊中学校区 | 14. 高積中学校区 | 15. 東中学校区 |
| 16. 楠見中学校区 | 17. 有功中学校区 | 18. 貴志中学校区 | 19. その他 | 20. わからない |

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします

問2 あて名のお子さんの性別と学年をご記入ください。

- | | | |
|------|------|----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 小学校（ ）年生 |
|------|------|----------|

※義務教育学校の1～6年生は小学校1～6年生、7～9年生は中学校1～3年生に読み替えてください。

問3 平成30年4月1日現在において、あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合は、末子の年齢をご記入ください。

- | | | |
|------|-----------|-----------|
| （ ）人 | 末子の年齢（ ）歳 | 平成 年 月生まれ |
|------|-----------|-----------|

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（○は1つ）

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない（ひとり親） |
|-----------|------------------|

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（○は1つ）

- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他（ ） | | | |

子供の育ちをめぐる環境についておうかがいします

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係であてはまるのは次のうちどれですか。（○はいくつでも）

- | | | | |
|----------|----------------|-----------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 学校 | 6. 学童保育（若竹学級等） | 7. その他（ ） | |

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は次のうちどれですか。（○はいくつでも）

- | | | | |
|-----------|-------|-------|----------------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 学校 | 4. 学童保育（若竹学級等） |
| 5. その他（ ） | | | |

問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子供をみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子供をみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問 10 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

1. いる/ある ⇒ 問 10-1へ
2. いない/ない ⇒ 問 11

問 10-1 問 10で「1. いる/ある」を選ばれた方におうかがいします。

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設(地域子育て支援センター等)・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 小学校教諭 |
| 7. 学童保育(若竹学級等)指導員 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他() | |

あて名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします

問 11 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)についてお答えください。(〇は1つ)

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

(1) 母親

1. フルタイム(週に40時間以上)で働いている
2. パートタイム(週に30時間以上)で働いている
3. パートタイム(週に12時間以上)で働いている
4. パートタイム(週に12時間未満)で働いている
5. 休職中だがフルタイムでの復帰を予定している
6. 休職中だがパートタイムでの復帰を予定している
7. 現在求職中である。
8. 病気や障害、通学などのために仕事ができない
9. 現在仕事をしておらず(休職中を含む)、今のところ仕事をする(復帰する)予定はない
10. その他()
11. 母親はいない

(2) 父親【母子家庭の場合は記載不要】

1. フルタイム (週に 40 時間以上) で働いている
2. パートタイム (週に 30 時間以上) で働いている
3. パートタイム (週に 12 時間以上) で働いている
4. パートタイム (週に 12 時間未満) で働いている
5. 休職中だがフルタイムでの復帰を予定している
6. 休職中だがパートタイムでの復帰を予定している
7. 現在求職中である。
8. 病気や障害、通学などのために仕事ができない
9. 現在仕事をしておらず (休職中を含む)、今のところ仕事をする (復帰する) 予定はない
10. その他 ()
11. 父親はいない

あて名のお子さんの放課後の過ごし方についておうかがいします

問 12 あて名のお子さんは現在、学童保育 (若竹学級) または市内の民間保育園での同様の事業を利用していますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 学童保育 (若竹学級) を利用している | } ⇒ 問 13 へ |
| 2. 民間保育園での事業を利用している | |
| 3. その他の事業を利用している | |
| 4. 利用していない | ⇒ 問 12-1 へ |

問 12-1 **問 12** で「4. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。

その理由は何ですか (〇はいくつでも)

1. 放課後は家族などで対応できるため利用する必要がない
2. 定員がいっぱいで利用できないと思う
3. 現在の保護者の就労日数が足りなくて利用できない
4. 現在の保護者の就労時間が少なくて (合わなくて) 利用できない
5. ほかの施設や習い事に通っている
6. 子供が放課後児童クラブになじめなさそう
7. 放課後は子供だけで過ごすことができる
8. 利用料が負担に感じる
9. その他 ()
10. とくに理由はない

問 13 学童保育 (若竹学級) または市内の民間保育園での同様の事業について、現在利用しているかどうかにかかわらず、あて名のお子さんが利用できるとすれば、何年生まで利用したいと思いますか (思いましたか)。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 1年生まで | 2. 2年生まで | 3. 3年生まで |
| 4. 4年生まで | 5. 5年生まで | 6. 6年生まで |

問 14 問 12 で「1. 学童保育（若竹学級）を利用している」または「2. 民間保育園での事業を利用している」を選ばれた方におうかがいします。

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育（若竹学級等）の利用希望はありますか（それぞれに○は1つ。また、希望がある場合は、利用したい時間帯すべてに○をつけてください）。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯（利用を希望する時間帯全てに○）	
2. ほぼ毎週利用したい		1. 8時30分～12時	2. 12時～15時
3. 月に1～2回は利用したい		3. 15時～17時	4. 17時以降

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯（利用を希望する時間帯全てに○）	
2. ほぼ毎週利用したい		1. 8時30分～12時	2. 12時～15時
3. 月に1～2回は利用したい		3. 15時～17時	4. 17時以降

問 15 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育（若竹学級等）の利用希望はありますか（○は1つ。また、利用したい時間帯すべてに○をつけてください）。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯（利用を希望する時間帯全てに○）	
2. ほぼ毎週利用したい		1. 8時30分～12時	2. 12時～15時
3. 月に1～2回は利用したい		3. 15時～17時	4. 17時以降

あて名のお子さんの病気の際の対応についておうかがいします

問 16 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで小学校を休まなければならなかったことはありますか。（○は1つ）

1. あった ⇒ 問 16-1 へ	2. なかった ⇒ 問 17 へ
-------------------	------------------

問 16-1 問 16 で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。

あて名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった日数は、1年間にだいたい何日くらいありましたか。

() 日くらい

問 16-2 問 16 で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思った日数はだいたい何日くらいありましたか。

() 日くらい

病児保育：子供が感染性の病気回復期やかぜ、腹痛などの軽い病気にかかり、保育所や幼稚園へ登園できず、さらに仕事や病気のために、家庭で看護することができないとき、病院等でお子さんを預かる保育。

病後児保育：子供が感染性の病気回復期やかぜ、腹痛などの軽い病気の「回復期」の状態にあるために保育所や幼稚園へ登園できず、さらに仕事や病気のために、家庭で看護することができないとき、市が補助をする団体でお子さんを預かる保育。

あて名のお子さんの不定期な一時預かり等の利用についておうかがいします

問 17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の理由として、子供を家族以外の誰かに一時的に預けたことはありますか。(〇はいくつでも。また、該当する日数には1年間のおおよその利用日数を数字でご記入ください)

1. 親族・知人にみてもらった	() 日
2. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子供を預かる事業)	() 日
3. 夜間養護等事業 (トワイライトステイ) (児童養護施設等で平日の夜間又は休日に養育する事業)	() 日
4. ベビーシッター	() 日
5. その他 ()	() 日
6. 預けることはなかった	

問 18 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(〇は1つ)

1. 1～2日あった	2. 3～4日あった
3. 5～10日あった	4. 10日以上あった
5. なかった	

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についておうかがいします

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものはありますか。A 知っているかどうか、B：利用したことがあるかどうか、C：今後利用したいかどうかのそれぞれについて、お答えください。(各サービスのA～Cのそれぞれについて、該当するものに〇)

	A 知っている		B 利用したことがある		C 今後利用したい		
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	わからない
①家庭教育に関する学級・講座	1	2	1	2	1	2	3
②思春期の健康電話相談・思春期教室	1	2	1	2	1	2	3
③学童保育(若竹学級等)	1	2	1	2	1	2	3
④こども総合支援センター	1	2	1	2	1	2	3
⑤短期入所生活援助事業(ショートステイ)	1	2	1	2	1	2	3
⑥夜間養護等事業(トワイライトステイ)	1	2	1	2	1	2	3
⑦ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	1	2	3
⑧母子・父子・多子世帯の公的賃貸住宅への優先入居	1	2	1	2	1	2	3

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についておうかがいします

問 20 1日当たりの子供と一緒に過ごす時間はどのくらいですか（1週間の平均的な時間をお答えください）。また、その時間は十分だと思いますか。（それぞれに○は1つ）

（1）母親

子供と一緒に過ごす時間	週に（ ）時間
1. 十分だと思う	2. まあまあ十分だと思う
3. あまり十分だと思わない	4. 不十分だと思う
5. わからない	

（2）父親

子供と一緒に過ごす時間	週に（ ）時間
1. 十分だと思う	2. まあまあ十分だと思う
3. あまり十分だと思わない	4. 不十分だと思う
5. わからない	

問 20-1 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。（1週間の平均的な時間をお答えください）

（1）母親

（2）父親

1日（ ）時間	1日（ ）時間
---------	---------

問 20-2 あなたの家庭の生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についておうかがいします。（それぞれに○は1つ）

（1）現実

1. 仕事時間を優先	2. 家事（育児）時間を優先
3. プライベート時間を優先	
4. その他（ ）	

（2）希望

1. 仕事時間を優先	2. 家事（育児）時間を優先
3. プライベート時間を優先	
4. その他（ ）	

問 20-3 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。（○はいくつでも）

1. 残業や出張が入ること
2. 子供が病気やケガをしたときに代わりに子供の面倒をみる人がいないこと
3. 配偶者の協力が得られないこと
4. 家族や親族の理解が得られないこと
5. 職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子供の看護休暇、短時間勤務等）
6. 職場の理解や協力が得られないこと
7. 子供のほかに面倒をみななければならない人がいること
8. 子供の面倒をみってくれる学童保育（若竹学級等）が見つからないこと
9. 子供と接する時間が少ないこと
10. その他（ ）

問 20-4 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 感じる | 2. まあまあ感じる |
| 3. あまり感じない | 4. 感じない |
| 5. わからない | |

子供の健全な育成についておうかがいします

問 21 子育てに関して不安感や負担感等を感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 2. なんとなく不安や負担を感じる |
| 3. あまり不安や負担などは感じない | 4. まったく感じない |
| 5. なんともいえない(わからない) | |

問 22 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。
(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 病気や発育・発達に関すること |
| 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 育児のことがよくわからないこと |
| 4. 子供との接し方に自信がもてないこと |
| 5. 子供と過ごす時間が十分とれないこと |
| 6. 子供の教育に関すること |
| 7. 子供の友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること |
| 8. 子供の登校拒否などの問題 |
| 9. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと |
| 10. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと |
| 11. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること |
| 12. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと |
| 13. 仕事や自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間が十分とれないこと |
| 14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 15. 子育てのストレス等から、子供に手を上げたり、叱り過ぎたり、世話をしなかつたりしてしまうこと |
| 16. 子育てによる身体の疲れが大きいこと |
| 17. 子育てにかかる出費がかさむこと |
| 18. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれないこと |
| 19. 住居が狭いこと |
| 20. その他 () |
| 21. 負担に思うことはない |

問 23 子育ての悩みや不安から、子供につらくあたってしまうようなことがありますか。(○は1つ)

1. ときどき、たいたたり、どなったりするなど、つらくあたってしまうことがある
2. ときどき、食事や身支度などの世話をするのが面倒に感じ、無視したり、放ってしまうことがある
3. ときどき、つらくあたってしまいそうな気持ちになることがあるが、人に相談するなどして解消している
4. 特にそんなことはない

問 24 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、主に誰(どこ)から情報を収集していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設(地域子育て支援センター等)・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 小学校教諭 |
| 7. 学童保育(若竹学級等)指導員 | 8. 保育所や幼稚園等の職員 |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. かかりつけの医師 |
| 11. 自治体の子育て関連担当窓口 | 12. その他() |

問 25 あて名のお子さんは、子ども会やスポーツ少年団・趣味のサークルなどの、地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 参加している・参加したことがある | 2. 参加したことがない |
|---------------------|--------------|

問 26 あなたは、地域の子供たちとの交流や活動をさらに活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

1. 活動に地域の人に参加する機会を増やす
2. 調整や助言を行う専門的なコーディネーター役が必要
3. 自治会など地域組織で、子供や子育てについての活動に力を入れる
4. 市民を対象に地域活動を支援するボランティアの募集や養成をする
5. 市民を対象に地域活動を支援するNPOを育成する
6. 子供にかかわる地域活動の情報を一元化する
7. 身近なところに、地域活動の拠点になる場をつくる
8. 子供が意見を出し合い、子供が中心になって行う活動を育成する
9. 障害がある子の参加を促進するなど、地域のすべての子供が参加できるように配慮する
10. その他()
11. わからない

問 27 子供の健全育成や非行防止のために、どのようなことに力をいれるべきだと思いますか。(○は3つまで)

1. 家庭でのしつけやこころの教育を充実する
2. 学校での生徒指導や教育を強化する
3. 学校や地域、行政、警察などが連携し、指導体制を充実する
4. 青少年が高齢者や大人など、地域の人びととふれあう機会をふやす
5. 青少年に及ぼす影響の大きい雑誌やビデオなどの販売、ちらし等を排除する
6. 万引きなどを防止するための管理体制を強化する
7. 青少年の非行防止・健全育成のための相談体制を強化する
8. 携帯電話・スマートフォンやインターネットの適切な利用についての教育・啓発を強化する
9. その他()
10. 今のままでもよい

安全についておうかがいします

問 28 子供の安全を守るために、特に重要と思われることは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

1. 地域の交通安全活動の充実・強化
2. 歩行者や自転車のための交通安全施設（ガードレール・歩道）の整備
3. 地域ぐるみのパトロールなど子供を犯罪から守るための取り組み
4. 公園の遊具や安全性の確保
5. 不審者の進入防止など、学校の安全対策
6. 通学路や子供の遊び場の安全対策
7. 犯罪にあいそうになった時の対応についての教育
8. 災害時の避難についての指導
9. その他 ()

施策全般についておうかがいします

問 29 あなたは、和歌山市の子育て施策等に関する以下の項目を、どのように感じますか。(それぞれに〇は1つ)

	はい	いいえ	どちらでもない
① 子育てを楽しんでいると感じていますか	1	2	3
② 子供がいても安心して働けると感じていますか	1	2	3
③ 乳幼児健診の体制に満足していますか	1	2	3
④ 子供への教育環境が充実していると思いますか	1	2	3
⑤ 青少年が健全に過ごせるまちだと感じますか	1	2	3
⑥ 障害などがある子供を安心して育てられると感じますか	1	2	3
⑦ 学校などの公共施設が子供にとって安心できる場だと思いますか	1	2	3
⑧ 地域ぐるみで子供を見守る体制ができていると思いますか	1	2	3
⑨ 子育てが地域の人たちに支えられていると感じますか	1	2	3
⑩ 公園など遊び場が充実していると思いますか	1	2	3
⑪ 犯罪被害にあう事の少ない安全なまちだと思いますか	1	2	3

問 30 あなたは、和歌山市に住んでどのくらいになりますか。枠内には数字でご記入ください。

() 年

問 31 あなたは、今後も和歌山市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 住み続けたい ⇒問 31-1 へ 2. 住み続けたくない ⇒問 31-2 へ 3. わからない ⇒問 32 へ

問 31-1 問 31 で「1. 住み続けたい」を選ばれた方におうかがいします。

住み続けたいと感じる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 自分や家族の勤め先が市内にある | 2. 両親、親戚、親しい人が市内に住んでいる |
| 3. 緑が多く、自然環境がよい | 4. 通勤・通学など交通環境が便利 |
| 5. 職場が多く、働き口が見つかる | 6. まちに活気や魅力が感じられる |
| 7. 図書館などの教育・文化環境がよい | 8. 各種医療施設が整っている |
| 9. ショッピングやレジャーに便利 | 10. 近所づきあいがわずらわしくない |
| 11. 家賃や住宅面積など、住宅事情がよい | 12. 子育て支援等の環境がよい |
| 13. その他 () | |

問 31-2 問 31 で「2. 住み続けたくない」を選ばれた方におうかがいします。

住み続けたくないと感じる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 自分や家族の勤め先が市外にある | 2. 両親、親戚、親しい人が市外に住んでいる |
| 3. 緑が少なく、自然環境がよくない | 4. 通勤・通学など交通環境が不便 |
| 5. 職場が少なく、働き口が見つからない | 6. まちに活気や魅力が感じられない |
| 7. 図書館などの教育・文化環境がよくない | 8. 各種医療施設が整っていない |
| 9. ショッピングやレジャーに不便 | 10. 近所づきあいがわずらわしい |
| 11. 家賃や住宅面積など、住宅事情がよくない | 12. 子育て支援等の環境がよくない |
| 13. その他 () | |

問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。この調査票は、●月●日(●)までに、
同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。